

救える命あればどこまでも AMD A40年

岡山を拠点に世界各国の災害現場や紛争地で人道支援を続ける国際医療ボランティアAMD A（本部・岡山市）が設立40周年を迎えた。現在、緊急人道支援に備えて登録する医師や看護師らは国内だけで688人。支部はアジアを中心に32カ国・地域に上る。活動資金のほとんどを寄付によって賄い、2004年のスマトラ沖地震による大津波の救援をはじめ62カ国・地域で緊急医療や災害復興など247のプログラムを展開。「救える命があればどこまでも」を実践し、着実に成果を上げている。

指針として掲げる「相互扶助」の大切さを実感してもらおうと、8月にはAMD Aの呼びかけで環太平洋大（同市）の学生有志が能登半島地震の被災地・



石川県輪島市を訪問。輪島中での支援活動に汗を流した。
（山内悠記子）

22面に続く

2学期を迎える準備のため輪島中の教室から机を運び出す環太平洋大サッカー部の学生ら＝8月6日、石川県輪島市河井町（AMD A提供）